

令和元年度 岩城小学校 学校関係者評価集計表

結果：4＝あてはまる 3＝おおむねあてはまる 2＝どちらかといえばあてはまらない 1＝あてはまらない

2020年1月30日

評価：A＝対象の80%以上が肯定 B＝対象の70%以上が肯定 C＝対象の60%以上が肯定 D＝対象の60%未満が肯定

＜■は課題となる結果＞

項 目	評価指標	評価資料	アンケート結果					評定	・評価の分析、考察 ○改善策	今後の改善の方策 (学校関係者評価委員から)	%				
			4	3	2	1	無								
教育目標	「夢に向かってともに励む児童の育成」の達成に向けて、具体的に教育改善している。	教職員	2	9	0	0	0	A	・保護者や地域の肯定的な意見が多い。今後、さらに確かなものとする取組が望まれる。		97%				
		児童													
		保護者	12	22	2	0	5								
		地域住民	12	9	0	0	6								
学力・学習習慣	基礎・基本の充実を図り、確かな学力の定着・向上に向けて積極的に取り組んでいる。	教職員	5	5	0	0	0	A	・教職員と児童と保護者の評価に差がある。 ○個別指導の工夫で基礎・基本の定着を図る。 ○家庭学習の方法を定期的に伝えるなど学校と家庭の連携を密にしていく。 ○学力状況調査、診断調査の結果を参考にして取組を改善する。 ＜来年度の取組案＞ ○家庭での自主勉強の推進をする。 ○発達段階に応じた発表の仕方の指導を検討する。 ○表現の場を多く設け、自分の考えを大きな声で発表できるよう励ます。	→R 2年度より、新学習指導要領の完全実施なので、指導内容の確認をお願いします。 →学校での学習時間は限られるので家庭学習を工夫してください。 →3学期は学年のまとめの時期になります。児童の実態に応じた学習の指導の工夫をお願いします。 →これからも i プリの活用をお願いします。	95%				
		児童	48	20	2	0									
		保護者	12	22	4	1	2								
		地域住民	10	12	0	0	5								
	望ましい学習習慣・学習態度（家庭学習も含む）を育成している。	教職員	1	9	0	0	0	A					88%		
		児童	49	16	4	1									
		保護者	8	23	7	2	1								
		地域住民													
	児童は、発表の仕方が身に付いている。	教職員	2	7	1	0	0	A							86%
		児童	45	21	4	0									
		保護者	5	23	12	0	1								
		地域住民													
学習指導	指導法や指導体制の工夫・改善に努め、分かる授業づくりに取り組んでいる。	教職員	2	8	0	0	0	A	・今後も、主体的、対話的で深い学びにつながる授業をめざして授業研究に取り組んでいきたい。 ・自然、文化について計画的に地域人材を活用し、連携していくことが大切である。						97%
		児童	65	4	0	1									
		保護者	16	20	2	0	3								
		地域住民	17	7	1	0	2								
	学習の充実のために、自然・文化・人など、地域の特色を生かしている。	教職員	6	4	0	0	0	A							94%
		児童	48	16	4	2									
		保護者	22	17	2	0	0								
		地域住民	16	9	1	0	1								
心の教育	望ましい人間関係づくりができています。	教職員	1	10	0	0	0	A	・思いやりのある児童が育つように指導を工夫していく必要がある。	→道徳教育にも力を入れていきましょう。 →「わたしたちの道徳」の道徳の時間以外の活用方法を工夫してみてください。			93%		
		児童	57	13	1	1									
		保護者	13	17	6	1	4								
	児童が命の大切さを実感できる教育の充実が図れている。	教職員	2	9	0	0	0	A							100%
		児童	64	6	0	0									
		保護者													
	人権・同和教育を計画的に実践している。	教職員	3	8	0	0	0	A							94%
		児童	54	10	3	2									
		保護者	18	20	2	0	1								
学校体育	体育の時間や遊びなどを通して、体力づくりを進めている。	教職員	7	4	0	0	0	A	・休み時間に運動場で体を動かす児童は多い。運動が苦手の児童への支援の仕方を工夫していきたい。						92%
		児童	51	13	5	0									
		保護者	21	15	4	1	0								
		地域住民													
特別活動	学校行事等は、創意工夫を生かし、充実している。	教職員	5	6	0	0	0	A	・運動会、ふれあい学習会、しめ縄づくり等で工夫を凝らしながら、地域と交流できた。	→学校支援ボランティア活動さんの活用を積極的行いましょう。			99%		
		児童	59	11	0	0									
		保護者	21	18	0	1	1								
		地域住民													
生徒指導	児童一人一人にアンケートや教育相談などを実施し、全校職員が協力して、問題の早期発見・早期対応が図れている。	教職員	6	5	0	0	0	A	○誰にも相談しない児童が数名いる。アンケート等を利用して教育相談を充実させたり、気軽に話せる人間関係の構築に努めていきたい。		91%				
		児童	50	12	5	3									
		保護者	14	19	2	2	4								
		地域住民	2	18	0	0	7								
基本的な生活習慣	基本的な生活習慣の育成ができています。	教職員	1	9	1	0	0	A	・多くの児童はあいさつができていますと考えているが、保護者や教職員の評価はそうではない。 ○家庭への感謝や地域とのつながりについて考えさせながら、挨拶指導を進めていきたい。	→よい児童を奨励していくなど、全職員で取り組んでいきましょう。	90%				
		児童	46	17	5	1									
		保護者	15	21	4	1	0								
		地域住民													
	進んで気持ちのよいあいさつができています。	教職員	1	7	3	0	0	A					87%		
		児童	45	22	3	0									
		保護者	12	18	11	0	0								
		地域住民	16	8	2	0	1								
進路指導	将来の夢や希望について、話したり、考えたりする機会を設けている。	教職員	0	7	3	0	0	A	○小学校低学年段階では難しいとも言えるが、将来の夢について考える機会を設定するなど工夫していく。 ○スピーチなどを通して、自分の思いを表現する場を設けるようにする。	→進路指導は将来について教え、目的をもたせるよう機会を捉えて話をしてみてください。			80%		
		児童	46	10	6	7									
		保護者	10	23	6	2	0								
		地域住民													
学校安全	非常時に適切に対応できるような訓練や指導ができています。	教職員	9	2	0	0	0	A	・防災への取組が高評価である。	→今後も随時、避難訓練を取り入れていくことが大切です。	97%				
		児童	54	14	1	1									
		保護者	17	18	2	1	3								
		地域住民	19	7	0	0	1								
特別支援教育	コーディネーターを中心に、特別支援体制を整え、協力して支援している。	教職員	7	4	0	0	0	A	・これから校内体制をしっかりと整え、全教職員が協力して取り組んでいきたい。		95%				
		児童													
		保護者	8	23	2	0	8								
		地域住民													
保護者・地域との連携	保護者や地域の人々とのふれあいを通して、信頼関係を確立している。	教職員	6	5	0	0	0	A	・地域、保護者の期待に応える教職員をめざす必要がある。 ・ホームページはよく更新されており、アクセス数は多い。		96%				
		児童													
		保護者	11	22	1	1	6								
	「学校だより」や「学級だより」等の内容は適切である。	教職員	7	4	0	0	0	A					99%		
		児童													
		保護者	15	25	1	0	0								
施設設備	校舎内外の美化が充実している。	地域住民	13	12	0	0	2	A	○運動場整備、草引きなどを継続的にしていかなければならない。				95%		
		教職員	5	4	2	0	0								
		児童	63	6	0	1									
		保護者	13	25	3	0	0								
		地域住民	15	11	0	1	0								